



てるてる子どもの城

◎「いつも“読書の季節”・エジソンの伝記」



夏休み期間中、図書室の「エジソン」伝記を本当に久しぶりに一気に読みました。エジソンの発した言葉は沢山あります。その一つに「発明は失敗の元」があります。私はその解釈を「成功」と「失敗」は相対（あいたい）するものと捉え、思い返せばいつの間にか「失敗」するほど「成功」は遠のくと考え、チャレンジする意欲もある程度まで行くと「もういいか。」と思い、その分「成功」する喜び・達成感も薄まっていったと思います。

「成功は納得できた結果」と「失敗は部分的な成功」と捉えると、長く感じた道のりも「良く歩いてこれた。」と思うことが出来、くよくよ悩むことにエネルギーをそんなに使わなくても良いと感じました。久しぶりにエジソンの伝記を読んで良かったです。センターにもそれなりの蔵書があります。電子媒体を利用するのも良いですが、たまに本をめくる楽しさにたくさん触れるのも良いなと思いました。

◎「好きこそものの上手なれ」



子どもたちに大人気なコリントゲーム。子どもの指先にあるボタンを操作してビー玉を上手に転がしてゴールの鐘を鳴らします。指先に微妙な押し加減が求められます。常に貸し出されているゲームです。その分故障も多く、先生が修理します。裏蓋を開け、故障箇所をさっと直し素早く希望のお子さんの手元に。

夏休みのランタン工作。ペットボトル回りに貼り付ける飾りもひとつひとつ先生方の手作りです。子どもたちがきれいに思い思いの気持ちを込めて、その飾りを丁寧に貼り付けていました。持ち帰りましたら点灯し、ぜひデザインの良さを褒めてください。館長から見れば、子どもたちも先生方も「好きこそものの上手なれ。」その練度がぐんぐん上がっています。脇で見ていて「すごい！」です。



◎「仲良く遊ぶ ^^)」



学校とは違う異学年集団。異学年なるがゆえに、お互いの思いが通じず、何の意図もなく仲良しと思い、背中にポンとタッチ。友達関係、上下関係がきちんと出来て入れば、お互いに目を合わせて笑顔で終わることです。1.2.3年生ではそこまでの信頼関係がまだ醸成されていないことも。突然タッチされると心の準備が全く出来ていない分、ともすると「からかい」や「いじめられた」と感じてしまうこともあるようです。タッチした相手に笑顔が見られなかったら、直ぐに「ごめんね。」言えると良いですね。



【↑カプラでマンション】

【↑カードゲーム中。話しがおもしろくて、手も止まり笑いも止まりません】



◆【ツイスター】
体がよじれています。

◆【カプラでタワー】
→より高く
※より安全に



♥子育て広場（もぐもぐタイム中）